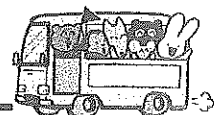


# 平成28年度の活動記録(10月)

## 第12回(10月3日)◎屋外昼食会



参加者数

対象者：19名  
協力員：12名  
社協(バス運転手)：1名

- 今回のコースは 出発→森町の小國神社(参拝)→新東名・掛川PA(屋食)→グリーンピア(休憩)→帰着 でありました。
  - あいにく多少の雨には見舞われましたが、「プチ旅行」気分でした。一日を過ごすことが出来ました。
  - 人は外出することがコミュニケーションを取る機会となり、感情が豊かになり、言葉を喋り聞くことで、より頭の運動にもなると考えられます。
- ◎みなさん是非積極的に外出しましょう。

九時三十分、しゅっぱーつ



小國神社



あいにくの雨が・・・



ことまち横丁でイップク

掛川PA



いただきますーす



お土産は何がいいかな？



帰途 グリーンピアでお買い物

## 第11回(10月17日)◎公民館祭りの準備(合唱の練習)

〈思い出し・おもいだし)でなんとか手話の「富士山」の2番まで通して出来るようになりました。



参加者数  
対象者：23名  
協力員：13名

- 今日は朝から雨降り、いつもより集まりが悪いか？と思いましたがふたを開ければいつもと同じくらの出席数で安心しました。でも最近「生き生き」の日は雨降りが多いと思いませんか？
- 今回は来る11月13日の相良区公民館祭りで発表する『ロコモ体操「パタカラ」』と『手話コーラス「富士山」』の練習をみんなでガンパッテやりました。特訓です！
- 本番までひと月を切りました。みなさん頑張りましょう！！

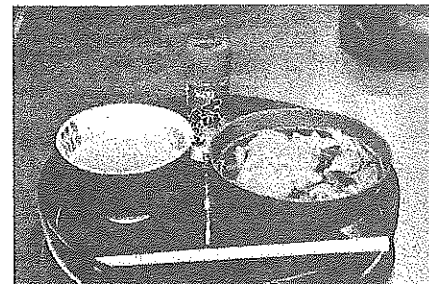


今日もいつもの体操でウォームアップ

◎本日のおやつ



西尾会長に大きくプリントしていただいた歌詞は見易かったですね。

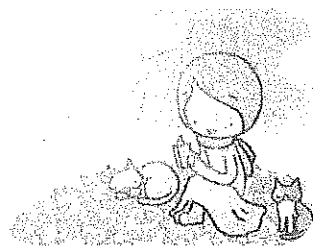


具だくさんの讃岐うどん

# 小春日和

## ●お散歩日和

11月になると木枯らしが吹くことも多くなり、山の紅葉も進みすっかり晩秋の空気に覆われます。木枯らしが吹くような風冷えの日には晴れていても外に出たくないのですが、風が無く秋晴れとなると公園でも散歩に行きたくなります。そんな陽気が小春日和です。イチヨウの黄葉を眺めながら黄色い落ち葉の絨毯を踏みしめたり、ベンチで読書をしたりと、ゆったりとした時間を過ごすのに最適の陽気です。



## ●旧暦の十月は

「小春」とは旧暦（陰暦）10月の異称で、今の暦（太陽暦）で言うと11月から12月の上旬に当たることが多いです。このため、11月から12月の初め頃までの穏やかな暖かい日を指して小春日和と言います。

## ●世界中で

また、海外にもこのような陽気をさす言葉が沢山あり、北米の「インディアン・サマー」、ヨーロッパの「老婦人の夏」、イギリスでは「聖マルタンの夏」、そしてロシアではズバリ「女の夏」。小春日和のように、穏やかで皆が待ち望むような天気のことを指しています。

## ●夏が人気です

面白いのは同じ陽気に対して、日本では「春」を当てるのに、欧米では「夏」を当てるんです。日本では厳しい冬の後の「春」に喜びを感じるのが一般的ですが、緯度が高い欧米では春は短く、すぐにやってくる「夏」に人気が集中しているようです。「ジューン・ブライド」も日本では梅雨のジメジメの時期ですが、あちらでは一年でもっとも良い季節だからこそある言葉なんですわね。

ほんに小春のあたたかいてふてふ 種田山頭火

## 11月22日はいい夫婦の日

相・福生き生きクラブ会長 西尾仁男

来る11月22日は『いい夫婦の日』として定められています。この『いい夫婦の日』は昭和63年 財団法人余暇開発センターによって提唱され、平成10年に『いい夫婦の日』をすすめる会（名誉会長は桂文珍）が設立し、政府の制定した『ゆとりの創造月間』が11月ということもあり、『いい夫婦』の語呂合わせで11月22日に定められました。

翌年から広く一般からの投票や会の推薦を基に、理想の夫婦にふさわしい『パートナー・オブ・ザ・イヤー』を選出しています。

しかし、平成23年に受賞した三船美香・高橋ジョージ夫妻は、本年春離婚してしまいました。改めて『いい夫婦とは』と考えた時、平成18年から毎年行っている『いい夫婦の日川柳コンテスト』の入選川柳を見るとその答えが分かる気がしましたので紹介します。

（生き生きクラブだよりへの掲載でもあり、老夫婦の入選川柳を集めてみました）

- \*わたしには 今のあなたが ちょうどいい
- \*いい親で いるより先に いい夫婦
- \*時々 洗濯してる 赤い糸
- \*俺よりも 先に死んだら 離婚だぞ
- \*釣りキチの 餌につられて 50年
- \*空気ほど 軽くないわと 笑う妻
- \*いい夫婦 審査したのは 子供たち
- \*いざという 時は夫が 前に出る
- \*これからは 各駅停車の 我が夫婦
- \*勝つよりも 負ける力の いい夫婦
- \*言いました 妻が言うなら そうだろう
- \*日常が 流れるごとく 老夫婦

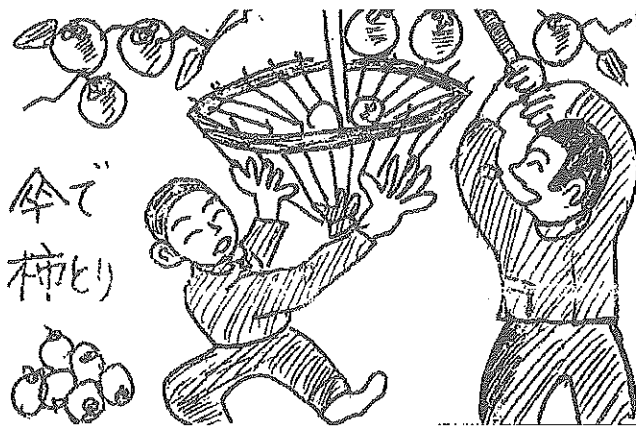
川柳は人間を詠うもの。そこには『笑い』もあれば、『涙』もあります。人間が家庭をつくるその自然の中の世界、それらをまとめて表現されています。

どの夫婦も見えない太い糸で繋がっているんですわね。



# なつかし記・さがら 子供たちのいる風景

「柿の花」は夏、「柿」・「熟柿」・「木守柿」は秋の季語です。なおこの木守柿とはカキノキになった柿の実をすべて収穫せず、木になったまま残しておく数個の柿の実のことです。「こもりがき」、「きもりがき」と読まれます。このような風習は来年の豊作への祈願であるとも、野鳥のために残しておくともいわれています。なお、ユズなどについても同じような風習があります。



画 澤田 翰 (たかし) 氏

皆様のご意見や思い出話をお待ちしております

## 相良今昔物語 澤田 翰 (たかし)

(先月号からの続き)

又、この処に「群龍堂」という印鑑屋さんが住んでいて、大変器用な人で、明治時代、相良海岸に大相撲一行の大興行を打った時、相良福岡青年団の主催で群龍堂さんが相撲番付を手書きされたものが、元玉月の旧家屋を解体する時に屋根裏から出て来て、柳屋さんに現存しています。

裏には、踊りの上手なひなちゃんの家もありました。

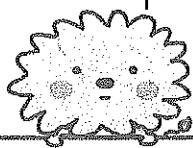
※阿部さんの織の音も静まり、息子さんが役場にお勤めとか……。

○寿亭のそばは天下一品。花月の料理、たまご璋球のカチツという冴えた音も今は無く、岡本のおとつちゃんの菊や盆栽の並んだ庭も、今は住宅になりました。

(原文のまま)

『(二) 新町中、東組、裁判小路』の項は今回が最後となります。そして替わって次回からは澤田氏御本人宅も含まれる『(三) 前浜西組』が始まります。

どうぞお楽しみに！



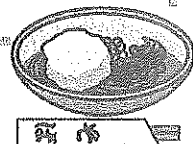
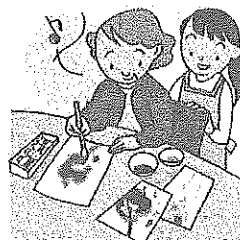
乞うご期待

※ご存知の通り「息子さん」＝現相良区長の阿部一博氏のことです。

◎これも皆さまご存知で、おいしい蕎麦の「壽亭」さんは代がかわった現在でも大盛況ですね。

## これからの いきいき予定

- 11月13日：相良区公民館まつり
- 11月21日：手話を楽しもう
- 12月 5日：お正月作品作り
- 12月19日：クリスマス会



相・福 いきいきだより  
突撃がいいねっ！！  
2016年11月7日号  
(通算第32号)

発行  
相良・福岡 生き生きクラブ  
編集  
いきいきボランティア協力員